

「ナゴルノ・カラバフからの避難民及びホストコミュニティのための基礎インフラ・社会統合支援計画（UNDP 連携）」に関する書簡の署名・交換

2024年2月28日、アルメニア首相府において、対アルメニア無償資金協力「ナゴルノ・カラバフからの避難民及びホストコミュニティのための基礎インフラ・社会統合支援計画（UNDP 連携）」に関する書簡の署名・交換が行われました。

同署名式では、青木豊駐アルメニア日本国大使とナティア・ナツヴリシュヴィリ国連開発計画（UNDP）アルメニア常駐代表との間で交換公文への署名及び交換がなされ、ティグラン・ハチャトリャン副首相をはじめ、サノシャン地域行政・インフラ相、ムクルチャン労働・社会問題相、サファリャン外務次官等が参加しました。

このプロジェクトは、日本政府が4.32億円（約300万ドル）を拠出し、UNDPアルメニア事務所を通じて、ナゴルノ・カラバフ地域からの避難民及びホストコミュニティへの支援を目的に実施するものです。

具体的には、昨年10月に我が国が行ったナゴルノ・カラバフの避難民等に対する200万ドルの緊急無償資金協力に続くものとして、避難民を受け入れているアルメニア国内1市及び4州において、一時的な避難先での電気・水等のインフラ及び地方医療サービスの整備等を行います。これにより、ホストコミュニティの経済的負担を軽減するとともに、女性や子供等の脆弱者層を多く含む避難民に対する支援を行い、ホストコミュニティと避難民の間での社会的統合の推進を図ることで、アルメニア国内の安定と人道状況の改善につながることを期待されます。



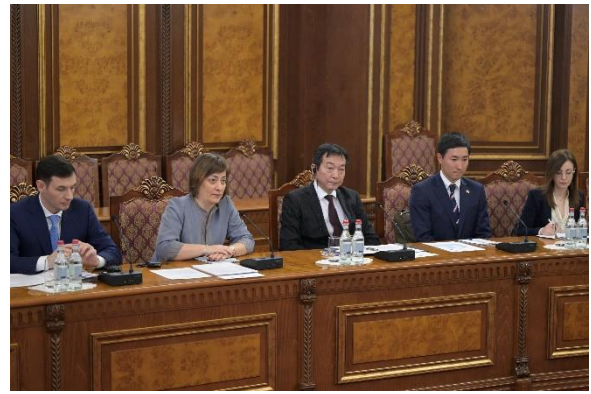
会場（於首相府）



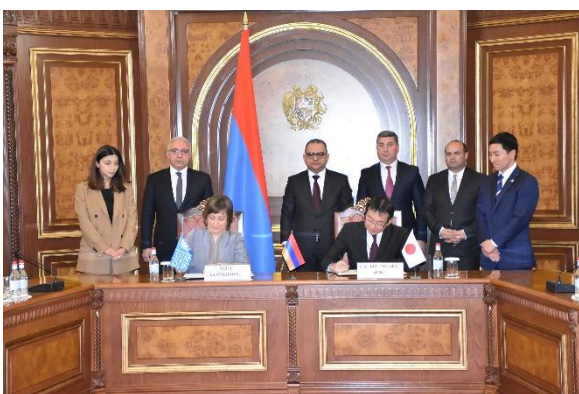
ハチャトリャン副首相のスピーチ



青木大使のスピーチ



ナツヴリシュヴィリ UNDP 常駐代表のスピーチ



交換公文への署名



記念撮影